



soramado family にお届けする

sora の おと ♪

2019年4月号
vol. 57

毎日の中のささいな楽しみを、
みなさんにお届けするお便りです

心がホッとあたたまるようなことなど
家のごことや暮らしのことはもちろん、日々のこと、
それからソラマドのことも♪綴っていきます

● ソラマド流行通信 ヘリンボーン ●

最近お打合せでご要望の多い、ヘリンボーン。
今回のそらのおとでは、ヘリンボーンの歴史を少し探ってみました！
ヘリンボーンとは模様的一种で、直訳すると「ニシンの骨」という意味。
名前の通り、タイルやフローリング材を魚の骨のように張ることを
ヘリンボーン張りと言います。

ヘリンボーンの歴史は長く、遡ることなんとローマ帝国。
道路に使用されるレンガを、通行する方向にヘリンボーン張りしたところ
レンガの持ちが良かったことから、ローマ帝国でこの技法が
用いられるようになり、ヘリンボーン張りの歴史が始まりました。

そののち、木のピースを組み合わせて一定のパターンで張り上げた
寄木張りフローリングが誕生し、16世紀に入りようやく室内の床で
ヘリンボーンのパターンは使用され始めました。
その後、フランスのベルサイユ宮殿の床にも使用され、西洋建築を彩る
フロアとして広まっています。

現在では、パネルタイプのフロア材も出回るようになり、
気軽にヘリンボーンを楽しむことが出来るようになりました。
ソラマド埼玉でも良くオススメするインテリアショップ toolbox では、
ヘリンボーンの他にも、パーケットフローリングやスクールフローリングなど
のフロア材も扱っています。

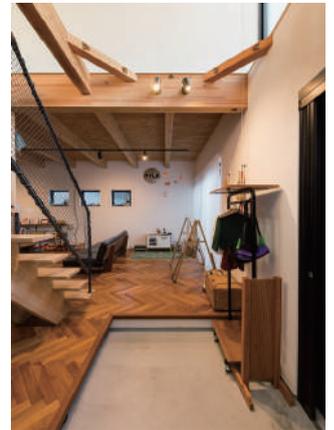
クラシックな印象が魅力的なヘリンボーンも、
近年流行のブラックやアイアンを基調としたインダストリアルな雰囲気の内装や
モルタルなどと合わせたり、ナチュラルなテイストの内装と合わせることで、
これまでとは違うヘリンボーンの表情を楽しむことができるかもしれません。



無垢のヘリンボーン



ローマ時代のヘリンボーンブリック



全体的に落ち着いた色でクールな印象に



カラフルな遊具とマッチして楽しい空間に



おうちでボルダリングも！



汚れを気にせず
趣味に没頭できる空間...

● お家について考えてみよう！ 内装編 ●

「お家について考えてみよう！」第3弾は、内装についてご紹介します。
ソラマド埼玉では、ほとんどのお家で内装の仕上げに漆喰を使用しています。
漆喰は湿気を吸ってくれたり、汚れやキズも自分でメンテナンスができたり、
漆喰壁の陰翳を楽しむことができたり、と様々な理由から漆喰をオススメしています。

そんなソラマド埼玉ですが、お打合せをしていく中で、お部屋にあわせて内装の仕上げを
変えてみることも提案させて頂いています。
例えば収納スペースでは、ざらつきのある漆喰壁が繊細な洋服をキズつけたり、
漆喰の粉が付着するのを防ぐために、あえてビニールクロス提案させて頂くこともあります。
またS.I.Cには、泥汚れにも強い、パーティクルボードやOSBをオススメすることもあります。
最近では、一部の壁だけ漆喰に色を付けたり、ビニールクロスを貼ったり、吹抜けを利用して
ボルダリングを設置したり...
ソラマドだからできる、「遊びごころ」をおうちに取り入れるお客様もいらっしゃいます。

ただの壁...されど壁...
どのお部屋をどのように使いたいのか、具体的に考えていくと、
用途や好みに合わせて、内装の仕上げ選びももっと楽しくなるかもしれません。

● スタッフのつぶやき ●



今月の担当: 宇都木

はじめまして！学生生活が少し恋しい、新入社員の宇都木です。
新しい環境、新しい仕事、そして新しい出会い。新しい事だらけの毎日はとても新鮮で
毎日が楽しいです。建築は未経験で0からのスタートになりますが、1日1日の積み重ね
を大切に、社会人として、人として成長していけるよう努めてまいります。
みなさまに会える日が、とても楽しみです！